

さあ もうひと踏ん張り

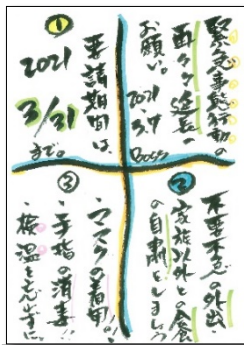
みづき会理事長

樋口敦夫

みなさま、大変ご無沙汰しております。

日頃より当法人の運営に対しまして多大なご支援ご協力を賜り心より感謝申し上げます。

昨年より世界中で新型コロナウイルスの感染拡大による生命および健康被害が続いておりますが、関係者の皆様のおかげでも様々な形で不安な日々が現在も続いていることとお察しします。また健康被害に遭われた方におかれましては心よりお見舞い申し上げますととも一日も早いご回復を心よりお祈り申し上げます。



職員向け掲示物



還暦迎えて
もうひと踏ん張り

私どもみづき会においても皆様同様に日々、職員は同居家族を含め感染防止に努めておりますが、このウィルスばかり

は強敵のようで感染防止も大切ですが感染拡大を最小限に止めることがより重要な課題と考え様々な手段を講じているところです。それにより利用者の皆様におかれましては日々の暮らしにおいて大変なご不便をおかけしていることをお詫びするとともに共に戦っていただけることに心より感謝申し上げます。

さて、不安なことばかり考えていても事態は好転してくれるわけではありませんが、感染予防の手立てを緩めることはできませんが、そんな中でも各施設においてそれぞれ余暇活動等を工夫しスト

レスや不安の軽減に努めた新しい暮らしの形を日々模索しているところです。

またご利用者のご家族におかれましては面会等が実現できず大きなご不安の中、医療物資の提供や食品や消耗品など多大なご支援を賜り心より感謝申し上げます。



5月、「セイバの木」女性部会より手作りマスクを頂き、利用者・職員に配布。

昨年は制限した中での面会を計画した矢先に事態が悪化してしまいほぼ未実施のまま今日に至っています。

ですが、政府の緊急事態宣言が解除されるのを見越した時期にできるだけ早い段階で面会等の実施を計画していますので、今しばらくお待ち頂きますようお願い申し上げます。それまでの間、私

たち職員が全力でご利用者の健康を守り、寄り添い続けますのでご理解とご協力の程よろしくお願い申し上げます。

いつ感染者が発生するかわからない状況がまだしばらく続くことと考えております。これまでも濃厚接触者を含め発熱等の対応につきましては医療機関や保健所等の指示に従い迅速に対応を図っているところですが、現実には陽性患者が発生した場合の対応については、すでに君津保健所と検査体制や患者さんの隔離体制などについて協議し指導を受けながら準備を整えているところであります。

最後に、いつも施設内外の環境整備をしてくださるセイバの木の皆様、またご利用者のレクリエーション等をお手伝いくださるたくさんさんのボランティアの皆様、コロナが収束しましたら変わらぬご支援を下さいますようお願い申し上げます。

災害復興 巨理からはりんご 富浦からはお花が

届いたりんごは給食へ。皆で頂きました。

十二月、宮城県巨理町からリンゴが届きました。令和二年度の巨理町訪問は休止し、遠くから「お互いに変な今」を心配し合っています。また、巨理町での花束配布に協力いただいた南房総富浦の安西さんからは、令和元年の台風被害から再建した温室で咲いた、綺麗な力ーネーションを頂きました。巨理も南房総も災害がきっかけで始まった交流です。自然災害はまた起こります。このコロナ禍でも同じような災害が起きるかもしれません。でも私たちは助け合うことができます。できる人ができる時にできるだけ。

安西さんの温室を訪問。